

あいおう  
**顰嘔**

**ふたたび虹のかなたに**

2012年11月3日(土・祝)～2013年1月14日(月・祝)

## 「虹のアーティスト」広島へ！

### 半世紀以上にわたる前衛芸術活動を網羅する貴重な回顧展

「虹のアーティスト」と呼ばれる顰嘔（1931年～）。1950年代に、既存の美術団体を批判し結成された「デモクラート美術家協会」に参加して以降、油彩や版画といった平面作品にとどまらず、周囲の環境を取り込んだ「エンヴァイラメント」と呼ばれる、人の五感に訴えかけるインスタレーションなど、様々な表現メディアを横断した前衛的な創作活動を今もなお続けています。本展覧会では、日本を代表する前衛芸術家・顰嘔のこれまでの創作活動を振り返ることで、旺盛な実験精神から生まれる、表現の多様性について考察します。

### 新たな表現へのあくなき挑戦～絵画、版画、立体、パフォーマンス、インスタレーションなど多様なジャンルの創作の軌跡

1931年に茨城県に生まれた顰嘔は、1953年、河原温らとともに、戦後を代表する前衛芸術家瑛九を中心に結成された「デモクラート美術家協会」に参加し、同協会の展覧会や読売アンデパンダン展に作品を発表し注目されました。また、同時期に美術評論家の久保貞次郎と出会ったことで、版画制作に積極的に取り組むようになりました。池田満寿夫ら他のデモクラートのメンバーとともに、当時はまだ油彩や彫刻に比べて低く考えられていた版画を、美術表現の表舞台に押し上げることに貢献するとともに、顰嘔の表現世界において、その後の版画が重要な一角を占める大きなきっかけとなります。

1958年、マルセル・デュシャンやジャクソン・ポロックにあこがれの念を抱いていた顰嘔はニューヨークに渡り、ジョージ・マチューナスが主唱する前衛芸術運動「フルクスス」に参加すると、様々な表現に挑戦します。美術家や音楽家といった異なるジャンルの表現者たちが交わる「イベント」と呼ばれるパフォーマンスへの参加や、多くの人が手にすることの出来る「マルチプル」という新しい概念の作品を制作、そして「エンヴァイラメント」と呼ばれるインスタレーションや、鑑賞者が直に触れたり体験できる作品を次々と発表。そして、線で図を描くことや構図を用いるという表現手法から脱却し、色相による表現に目覚めたことです。光のスペクトルの順にストライプで描く手法に取り組んだ顰嘔は、絵画や版画、立体などの多様なジャンルを通して、様々なモチーフに虹色を重ねる作品を生み出し、「虹のアーティスト」として、国際的に評価されることとなります。

### 100点以上の作品でたどる顰嘔の前衛精神

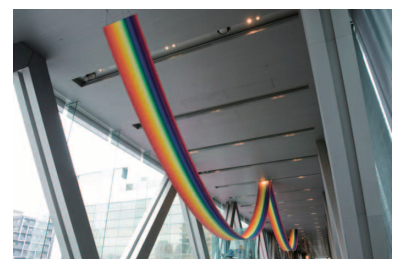
本展では、代表的な虹のシリーズの作品をはじめ、観客が直に体験できるインスタレーション、世界各地で行ったパフォーマンスやイベントのドキュメントなどの展示を通して、これまでの活動の全容をたどることで、顰嘔の前衛精神を紹介するものです。



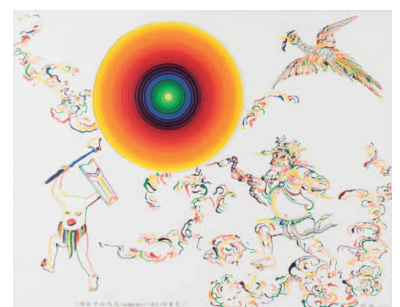
顰嘔《アダムとイヴ》1967-71年  
 油彩・カンヴァス  
 東京都現代美術館蔵



顰嘔《フィンガー・ボックス・キット》  
 1963年頃  
 15種類のフィンガー・ボックス、アタッシュケース



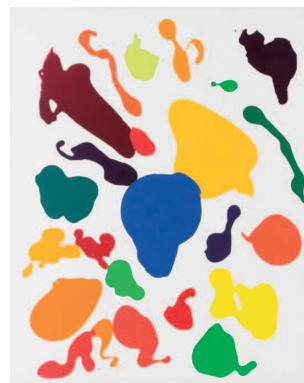
顰嘔《25m レインボー》1986年  
 シルクスクリーン、和紙  
 東京都現代美術館での展示風景  
 撮影：伊奈英次



顰嘔《精衛・夸父・刑天-山海経図より-あるいは勇氣》2011年  
 アクリル・カンヴァス

## 開催概要

- 【会期】 2012年11月3日(土・祝)～2013年1月14日(月・祝)  
 【開館時間】 午前10時-午後5時 ※入場は閉館30分前まで  
 【休館日】 月曜日(祝休日の場合開館し翌日休館)、年末年始(12月27日～1月1日)  
 【観覧料】 一般1,000(800)円、大学生700(600)円、高校生500(400)円  
 ※( )内は前売りおよび30人以上の団体料金  
 ※中学生以下、および65歳以上は無料  
 ※11月3日(文化の日)は全館無料  
 【主催】 広島市現代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会  
 【協賛】 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン  
 【後援】 広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送



齋嘯《はいよん YES NO》  
2011年  
アクリル・カンヴァス

## 作家略歴

### 齋嘯 (あいおう)

- 1931年 茨城県に生まれる  
 1953年 「デモクラート美術家協会」に参加  
 1954年 東京教育大学教育学部芸術学科卒業  
 1958年 ニューヨークに渡る(2006年までニューヨークを拠点に制作)  
 1962年頃～ 「フルクサス」グループに参加  
 1966年 ヴェニス・ビエンナーレ日本代表  
 1970年 「レインボー・エンヴァイラメント No.7 タクティル・レインボー・ルーム」(日本万国博覧会、大阪)  
 1971年 サンパウロ・ビエンナーレ日本代表(ブラジル銀行賞受賞)  
 1987年 「25m 虹のイベント」(永平寺、福井)  
 「300m レインボー・エッフェルタワー・プロジェクト」(エッフェル塔、パリ)  
 1990年 フルクサスに関連する多くの展覧会に参加  
 2006年 「虹のかなたに 齋嘯 AY-O 回顧 1950-2006」(福井県立美術館、宮崎県立美術館)  
 2010年 「齋嘯 1950's-2000」(茨城県つくば美術館)

## 見どころ

### ● 「虹」だけにとどまらない、半世紀以上におよぶ創作の軌跡をたどる

常に「新しい表現」を追究してきた齋嘯。平面、立体、パフォーマンス、インスタレーションなど、ジャンルにとらわれない多彩な表現方法の軌跡を初期～新作によって紹介します。

### ● 体験や触感を通して鑑賞する作品も

代表作のひとつ《レインボー・エンヴァイラメント No.7 レインボー・タクティル・ルーム+レインボー・エイムズ・ボックス》は「見る」だけでなく「体験する」という身体感覚に着目した作品。小屋の中を覆う虹色の正方形の中心にはそれぞれ穴が開いており、指を入れて異なる感触を楽しめます。

### ● 齢80歳、意欲的に生み出される新作も紹介

本展のために制作された新作が展示されます。80歳を過ぎてもなお衰えることのない新たな表現への挑戦意欲を感じてください。

### ● 20年以上前に手がけた広島のための作品

1988年に手がけた当館所蔵作品《8:15 A.M.》は「ヒロシマ」をテーマとした制作委託作品です。齋嘯が表現したヒロシマから見えるものとは…。必見の1点です。

広島市現代美術館(学芸担当:齋藤 広報担当:後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1

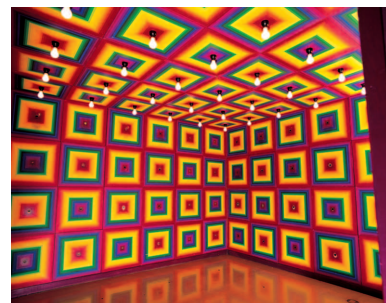
TEL/ 082-264-1121(代表)・082-264-1146(直通) FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp

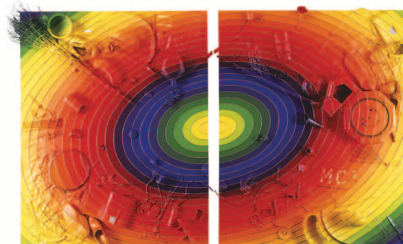
WEB/ <http://www.hiroshima-moca.jp/>



齋嘯  
撮影:大谷一郎



齋嘯《レインボー・エンヴァイラメント No.7 レインボー・タクティル・ルーム+レインボー・エイムズ・ボックス》1969年シルクスクリーン、パネル、フィンガー・ボックス



齋嘯《8:15 A.M.》1988年  
アクリル、オブジェ、カンヴァス  
広島市現代美術館蔵



## 作家本人による伝説のパフォーマンスからワークショップまで 展覧会をもっと楽しむための関連イベント

### 講演会／虹のかなたに行くまえに —デュシャン、フルクサス、巽嘔—

巽嘔について、敬愛するマルセル・デュシャンや前衛芸術活動フルクサスとの関わりから考察します。

2012年11月10日(土) 14:00～15:30

講師／平芳幸浩(京都工芸繊維大学准教授)

※参加無料、当日先着順 80名

### パフォーマンス／虹の晩餐会

フルクサスのアーティストとして1960年代初頭からニューヨークで展開された数多くのパフォーマンスに参加した巽嘔が、日本初のパフォーマンス「バンケット」を行います。

2012年12月15日(土) 18:00～20:00

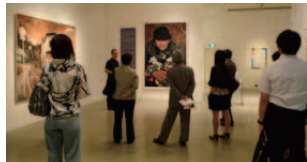
※参加費、会場、申込方法等の詳細は決まり次第ウェブサイト等でご案内します。

協力／ギャラリー 360°

### 学芸員によるギャラリートーク

現代美術は難しい、よくわからない、と思いがちな方にお勧めのギャラリートークです。

担当学芸員が展覧会をわかりやすく解説します。



2012年11月3日(土・祝) 11:00～12:00・14:00～

15:00、12月2日(日) 14:00～15:00

※要展覧会チケット、事前申込不要

### ワークショップ1／アーム・ボックスをつくろう

箱の中に様々なものをつめ、中身を手で触れて鑑賞するオリジナル・アーム・ボックスを作ります。

2012年11月23日(金・祝) 14:00～16:00

※定員／30名

※参加無料、要事前申し込み

<応募方法>

往復はがきまたはeメールで、参加者の氏名、年齢、代表者の住所、電話番号を明記の上、下記宛先まで送付してください。

11月13日(火) 必着。

※1通につき2組まで応募可。

※応募者多数の場合は抽選。

宛先／〒732-0815 広島市南区比治山公園 1-1

広島市現代美術館「アーム・ボックスをつくろう」係

eメール／hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp



巽嘔《タクティル・アーム・ボックス》  
1964年

### ワークショップ2／にじいろに光るコマをつくろう！

ホログラムシートを使い、回すとレインボーに輝くコマを作ります。

2013年1月5日(土) 10:00～17:00 \*開館中終日開催

※参加無料、事前申込不要

#### 【同時開催】

● コレクション展 2012—II 「青写真—記憶 ▶創造」

2012年7月7日(土)～11月4日(日)

● コレクション展 2012—III

2012年11月17日(土)～2013年2月24日(日)

#### 【次回開催】

● 特別展

路上と観察をめぐる表現史—考現学以後

2013年1月26日(土)～4月7日(日)

広島市現代美術館(学芸担当:齋藤 広報担当:後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1

TEL/ 082-264-1121(代表)・082-264-1146(直通)

FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp

WEB/ http://www.hiroshima-moca.jp/